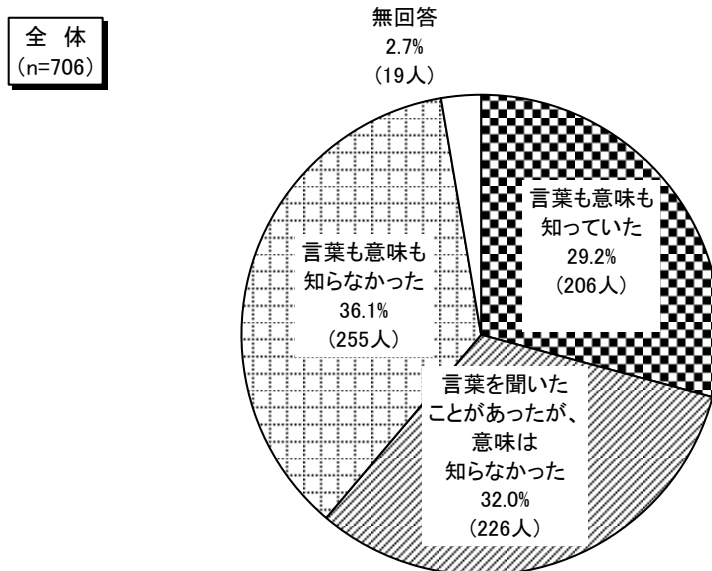


3. 生物多様性について

(1) 『生物多様性』について

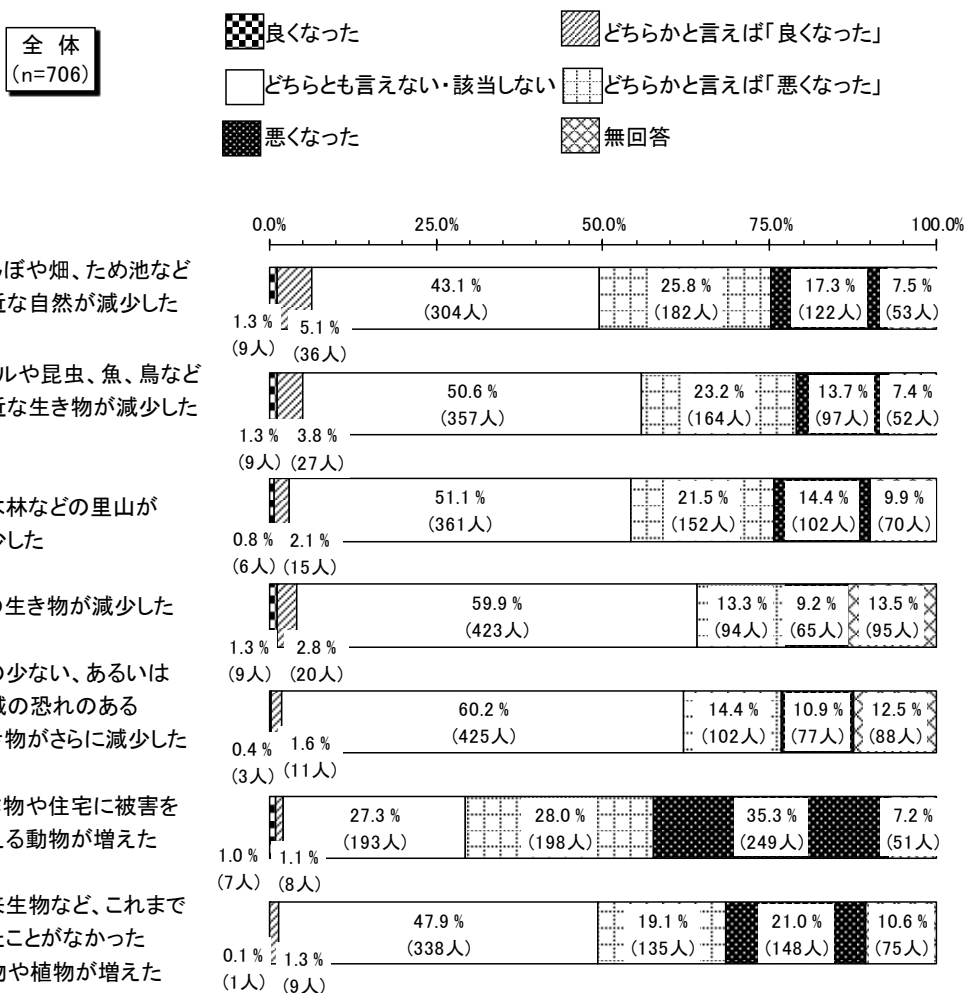
問10 あなたは、「生物多様性」という言葉について知っていましたか。
あてはまるものに1つに○をつけてください。



『生物多様性』について「言葉も意味も知らなかった」と回答した人は 36.1%と最も高く、4割弱となっている。「言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった」(32.0%)が3割強で続いている。

(2) 自然環境の変化について

問11 震災前と比較して、あなたの周りの自然環境はどのように変化しましたか。
ア～キについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。



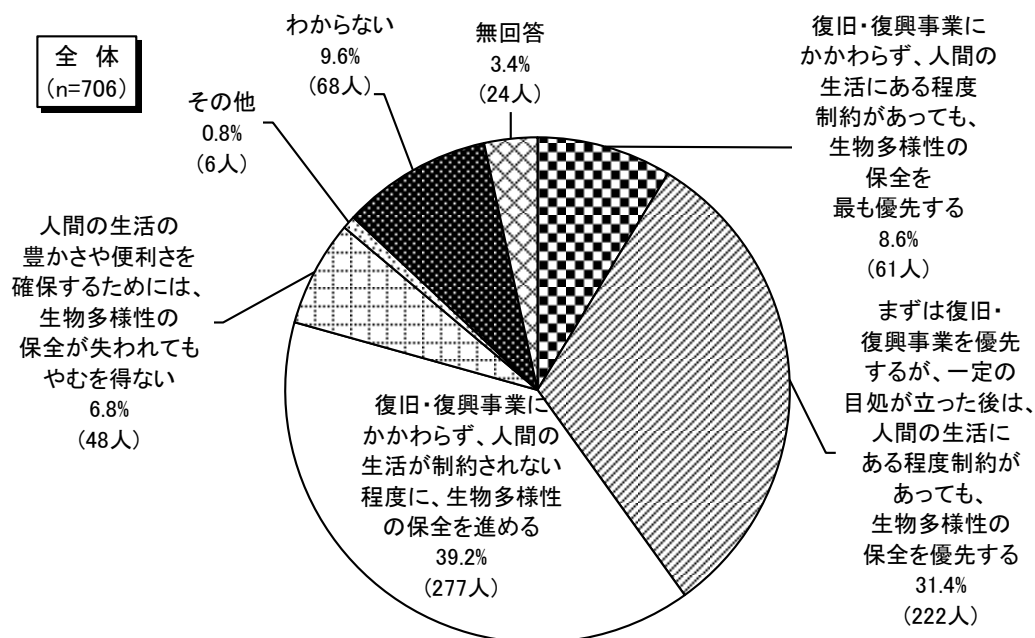
自然環境の変化について、「良くなった」計の割合をみると、＜ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した＞(6.4%)が最も多いが、1割に満たない。

一方、「悪くなった」計の割合は、＜カ 農作物や住宅に被害を与える動物が増えた＞(63.3%)が最も高く、6割強となっている。以下、＜ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した＞(43.1%)、＜キ 外来生物など、これまで見たことがなかった動物や植物が増えた＞(40.1%)が4割台となっている。

「どちらとも言えない・該当しない」の割合は、＜オ 数の少ない、あるいは絶滅の恐れのある生き物がさらに減少した＞(60.2%)と＜エ 海の生き物が減少した＞(59.9%)が高く、6割前後となっている。

(3) 生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについて

問 12 生物多様性を保全していくことは大切ですが、一方で東日本大震災からの復旧・復興に取り組む必要もあります。あなたはこのことについてどのようにお考えでしょうか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

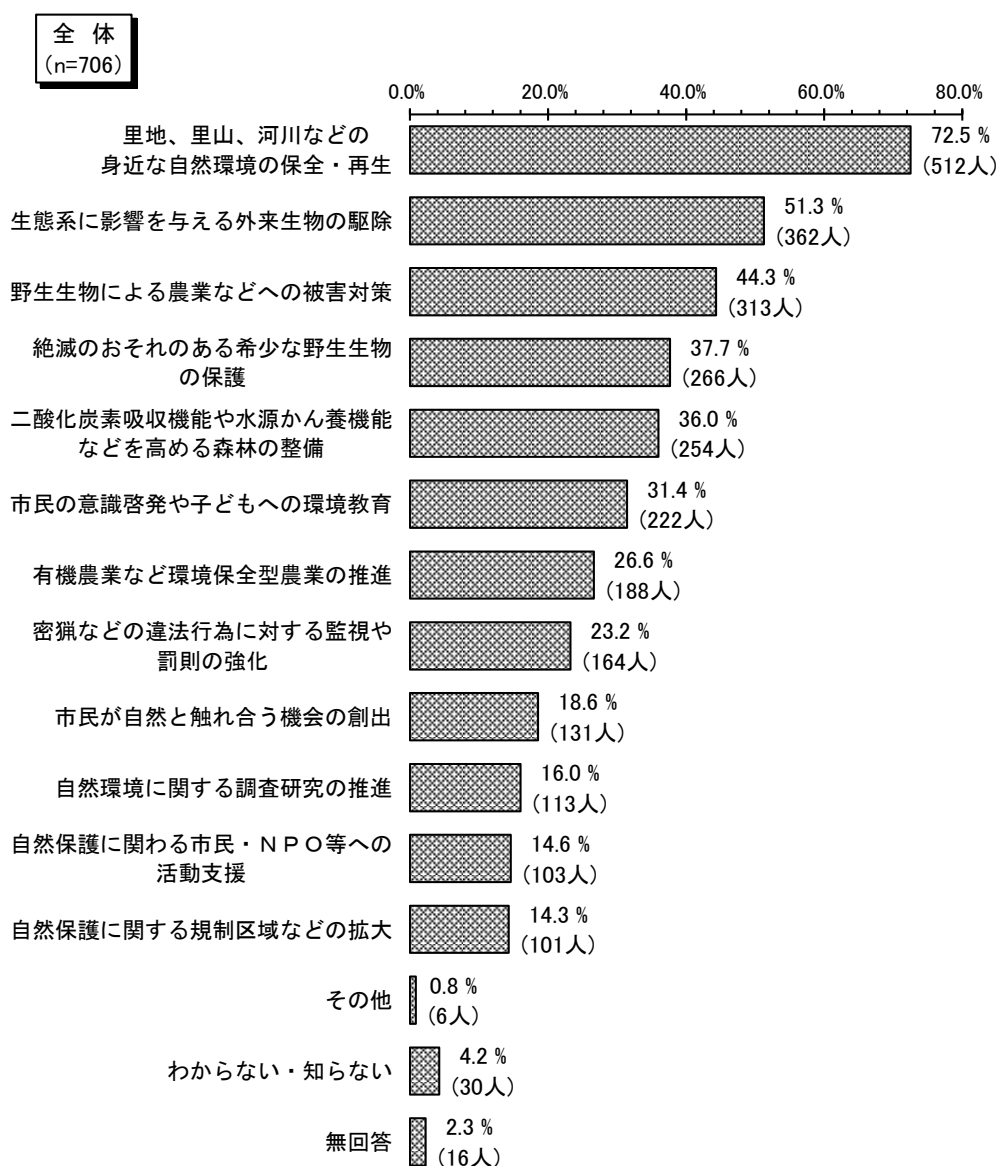


生物多様性の保全と復旧・復興への取り組みについては、「復旧・復興事業にかかわらず、人間の生活が制約されない程度に、生物多様性の保全を進める」(39.2%)が最も多く、4割強を占めている。以下、「まずは復旧・復興事業を優先するが、一定の目処が立った後は、人間の生活にある程度制約があっても、生物多様性の保全を優先する」(31.4%)が3割強で続いている。

(4) 生物多様性の保全のために重要だと思うこと

問 13 生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るために最も重要だと思うことはどれですか。

あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください。（複数回答可）

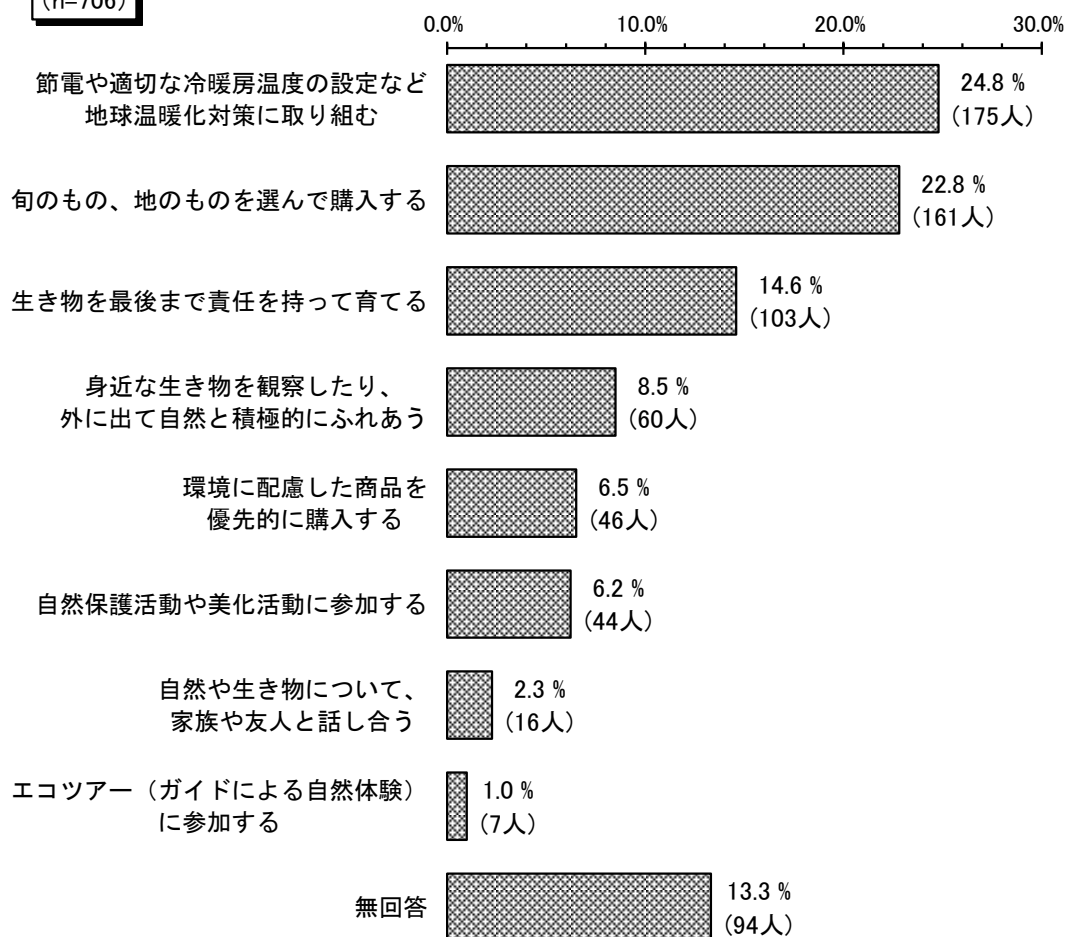


生物多様性の保全のために重要だと思うことは、「里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生」(72.5%)の割合が最も高く、7割強となっている。以下、「生態系に影響を与える外来生物の駆除」(51.3%)が5割台、「野生生物による農業などへの被害対策」(44.3%)が4割台、「絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護」(37.7%)と「二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備」(36.0%)と「市民の意識啓発や子どもへの環境教育」(31.4%)が3割台となっている。

(5) 生物多様性に配慮したライフスタイルについて

問 14 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

全体
(n=706)



生物多様性に配慮したライフスタイルについては、「節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む」(24.8%) が最も多く、全体の約4分の1を占めている。以下、「旬のもの、地ものを選んで購入する」(22.8%) が2割台、「生き物を最後まで責任を持って育てる」(14.6%) が1割台で続いている。